

# 日向市在宅介護実態調査 調査結果報告書

令和8年3月  
日向市



# 目次

I 調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の実施要領.....	1
3. 調査票の回収率、回収数.....	1
4. 調査結果利用上の注意.....	1
II 調査の結果.....	2
1. 調査対象者本人(要支援・要介護認定を受けている人)について.....	2
2. 主に介護をしている人(調査対象者を介護している人)について.....	13



# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

「第10期日向市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の基礎資料とすることを目的にアンケート調査を実施しました。

## 2. 調査の実施要領

### (1) 調査期間

令和7年12月17日～令和8年1月23日

### (2) 調査対象者

日向市内に居住する65歳以上の市民で要支援・要介護認定者のうち介護保険サービスを利用していない人(330人)

### (3) 調査方法

調査票の発送と回収は郵送方式。

## 3. 調査票の回収率、回収数

回収率:59.1%(配布数:330件、回収数:195件)

### <性・年代別 回収数>

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	計
男性	4	9	18	16	42	89
女性	5	10	15	19	57	106
計	9	19	33	35	99	195

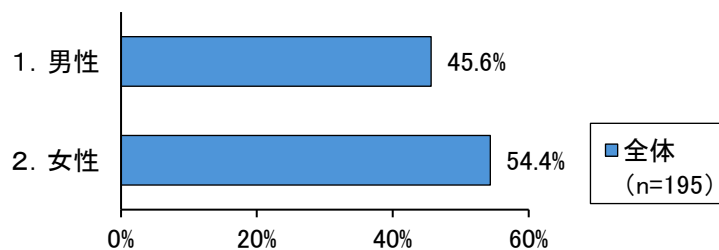
## 4. 調査結果利用上の注意

- ・各設問の集計母数(回答者数)は「n=」で示しています。
- ・回答率は百分比の小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答の設問は、回答比率の合計が100.0%を超えることがあります。

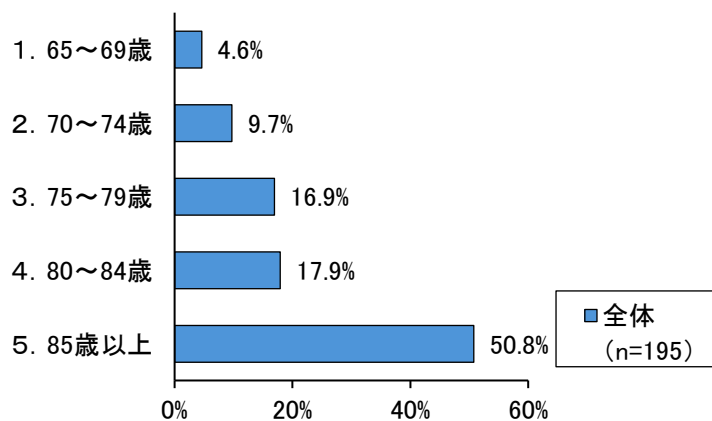
## II 調査の結果

### 1. 調査対象者本人(要支援・要介護認定を受けている人)について ＜調査対象者の属性＞

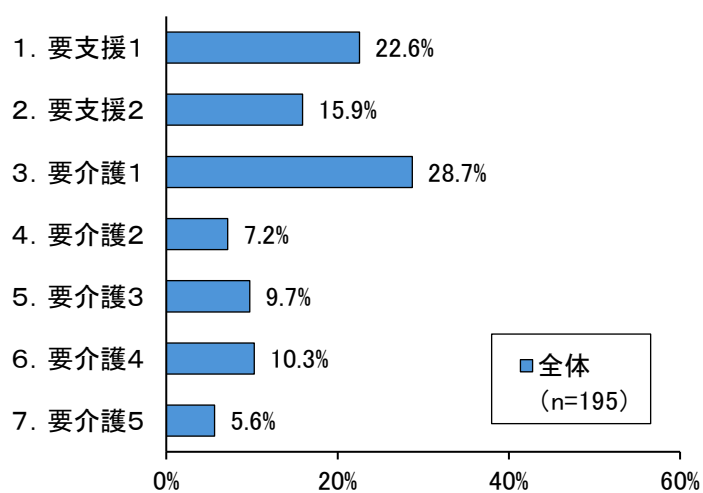
#### (1)性別



#### (2)年代

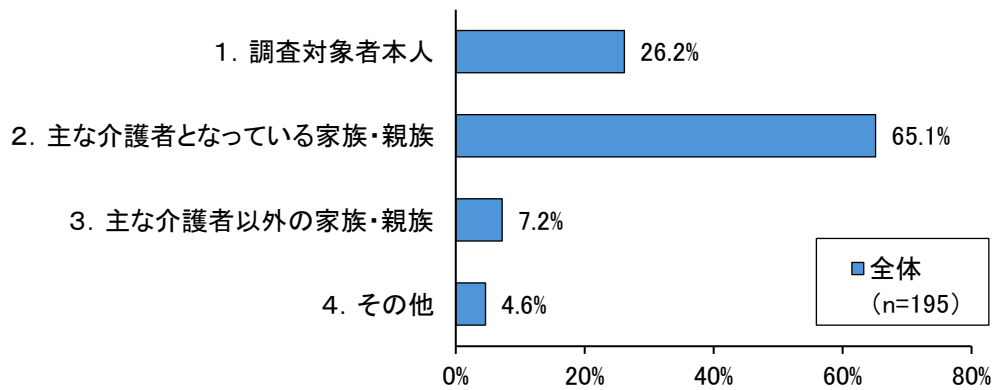


#### (3)要支援・要介護度



問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか(複数回答可)

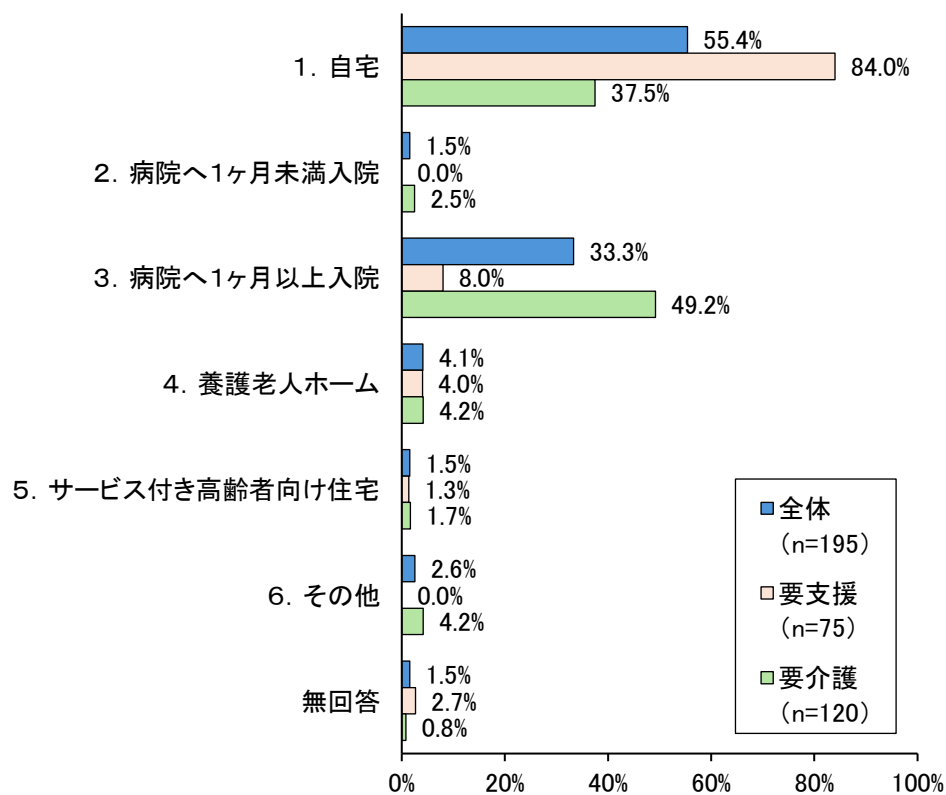
全体では、「主な介護者となっている家族・親族」の割合(65.1%)が最も高く、他の項目を大きく上回っています。



問2 調査対象者様ご本人(宛名の方)はどちらで生活をしていますか(1つを選択)

全体では、「自宅」の割合(55.4%)が最も高く、次が「病院へ1ヶ月以上入院」(33.3%)となっています。

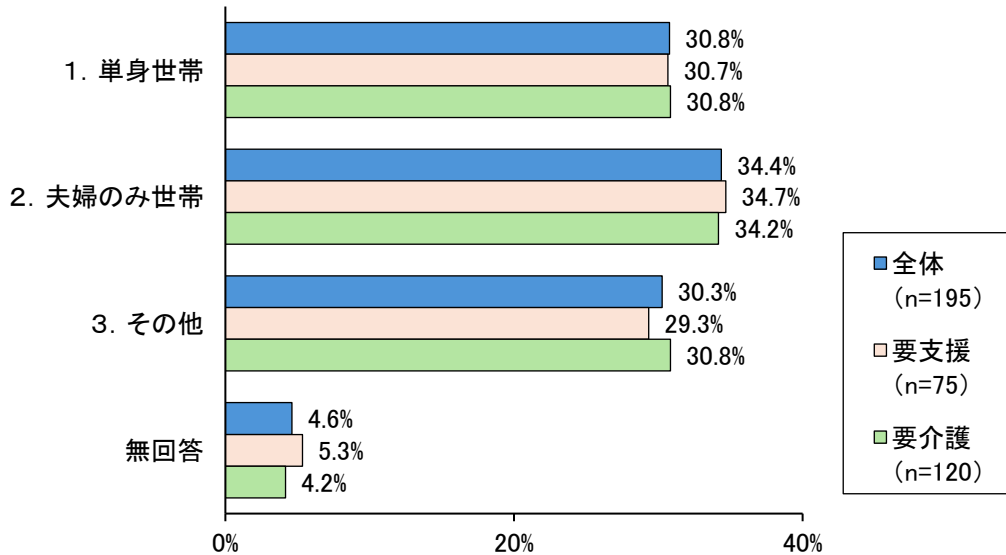
要支援・要介護別では、要支援は「自宅」の割合(84.0%)がほとんどとなっています。要介護では、「病院へ1ヶ月以上入院」の割合(49.2%)が最も高く、次が「自宅」(37.5%)となっています。



問3 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

全体では、「夫婦のみの世帯」の割合(34.7%)、「単身世帯」(30.8%)、「その他」(30.3%)がそれぞれ3割台でほぼ同じとなっています。

要支援・要介護別では、要支援、要介護とも全体とほぼ同じ結果となっています。

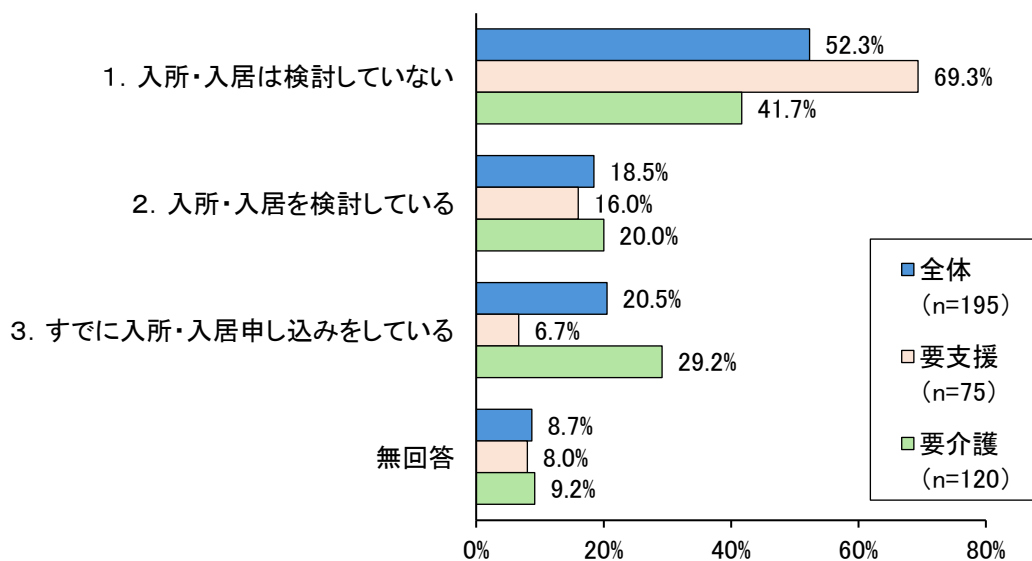


問4 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

全体では、「入所・入居は検討していない」の割合(52.3%)が最も高く、他の項目を大きく上回っています。

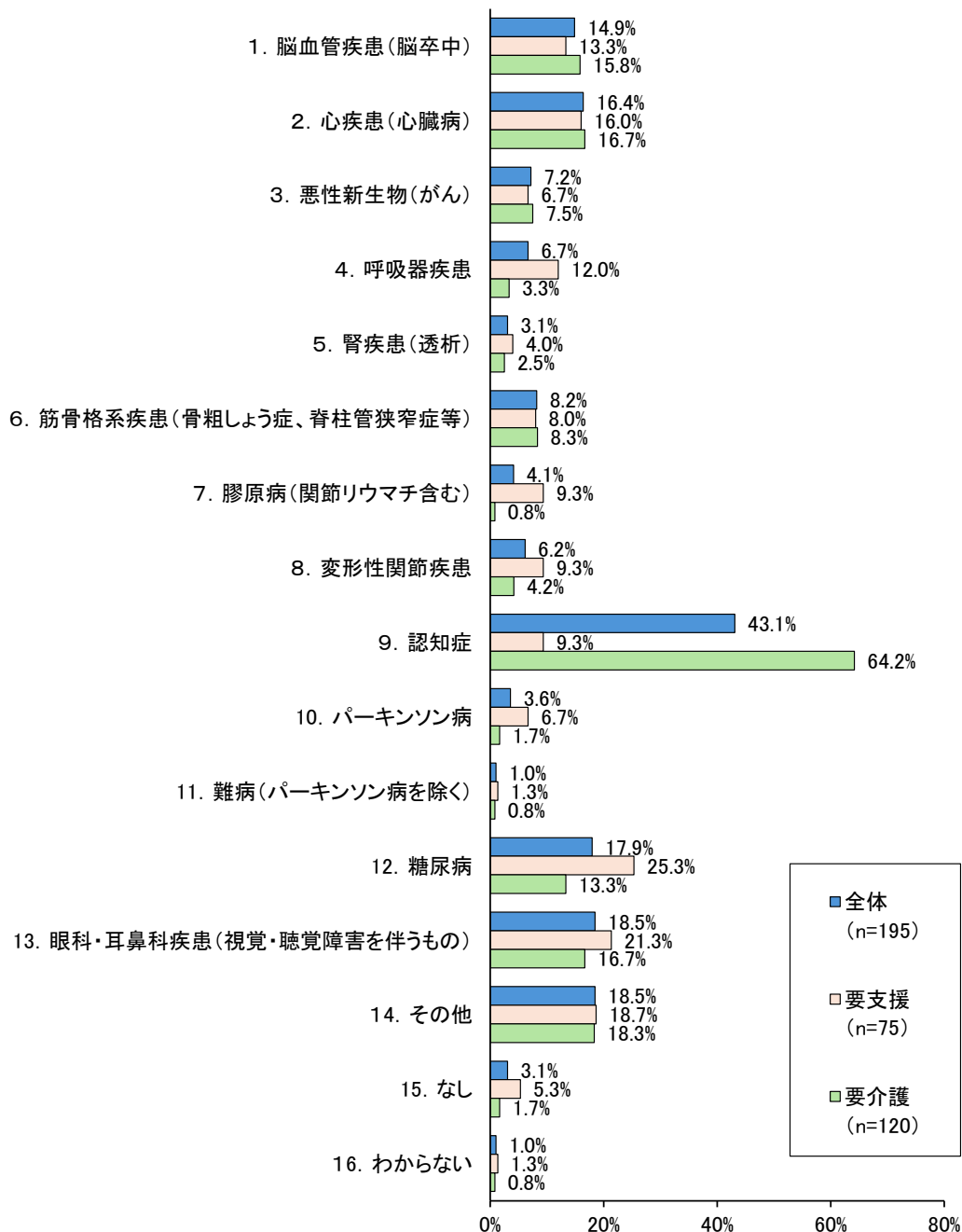
要支援・要介護別では、要支援、要介護ともに「入所・入居は検討していない」の割合が最も高くなっています。また、要介護は「すでに入所・入居申し込みをしている」(29.2%)が約3割となっています。



問5 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)

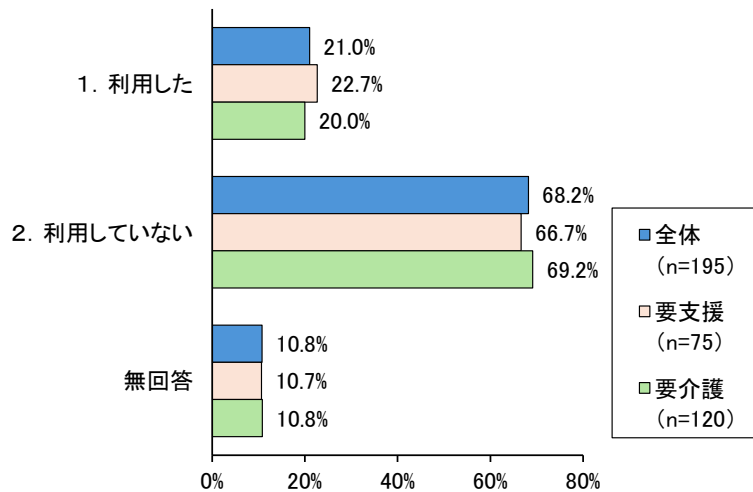
全体では、「認知症」の割合(43.1%)が最も高く、他の項目を大きく上回っています。

要支援・要介護別では、要支援は「糖尿病」の割合(25.3%)が最も高く、次が「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」(21.3%)となっています。要介護では、「認知症」の割合(64.2%)が最も高く、他の項目を大きく上回っています。



問6 令和7年11月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか(1つを選択)

全体では、「利用していない」の割合(68.2%)が「利用した」(21.0%)を大きく上回っています。  
 要支援・要介護別では、要支援、要介護とも全体とほぼ同じ結果となっています。

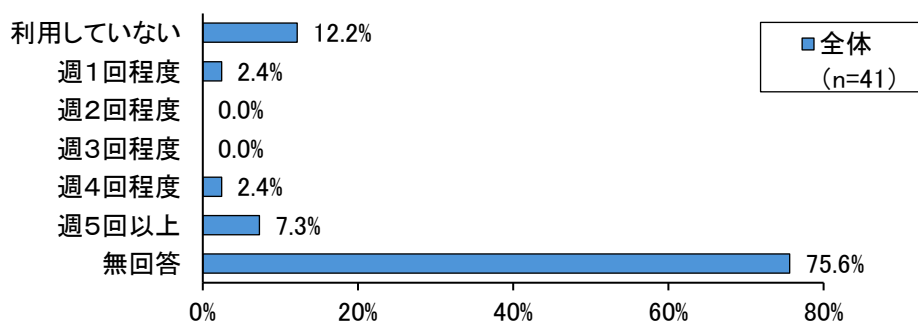


問6 問7 問6で「1. 利用した」と回答した方にお伺いします。

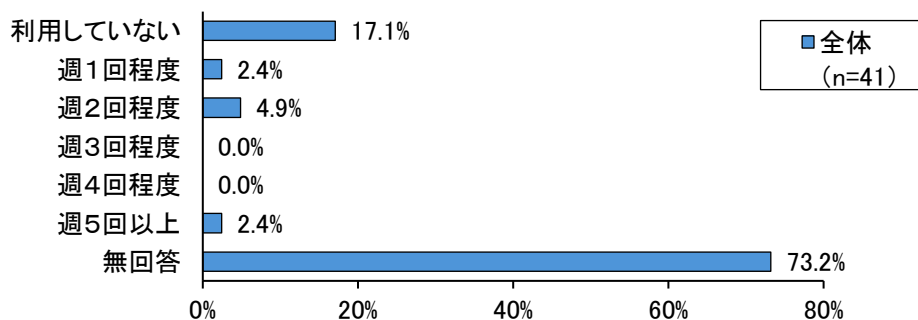
以下の介護保険サービスについて、令和7年11月の1か月間の利用状況をご回答ください。

各サービスの中で利用率が最も高いのは「通所リハビリテーション(デイケア)」であり、次が「訪問看護」となっています。

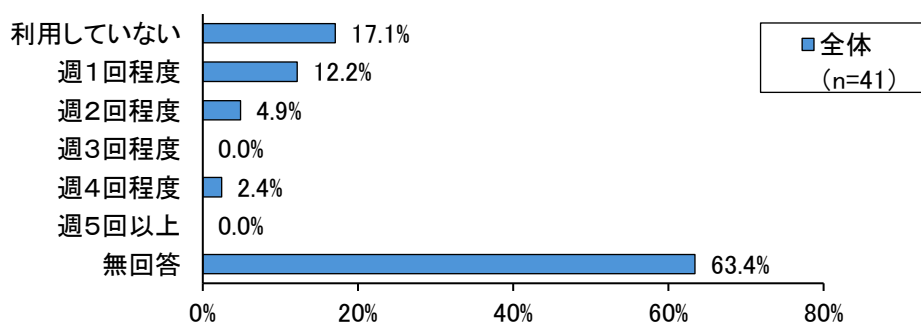
A. 訪問介護(ホームヘルプサービス)



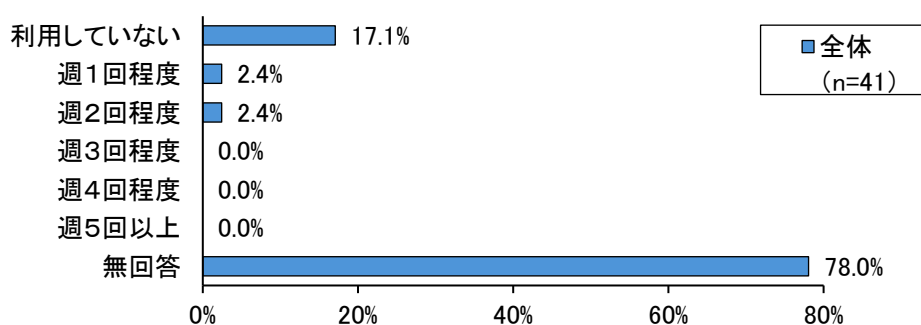
B. 訪問入浴介護



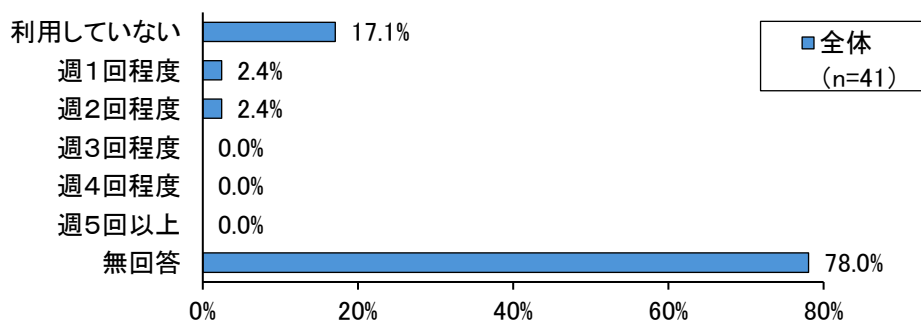
### C. 訪問看護



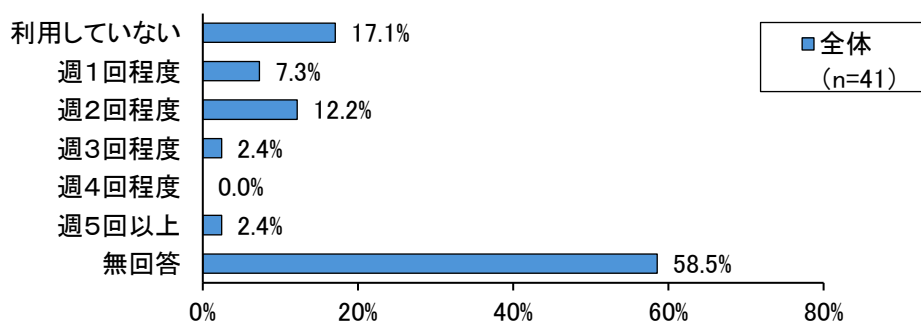
### D. 訪問リハビリテーション



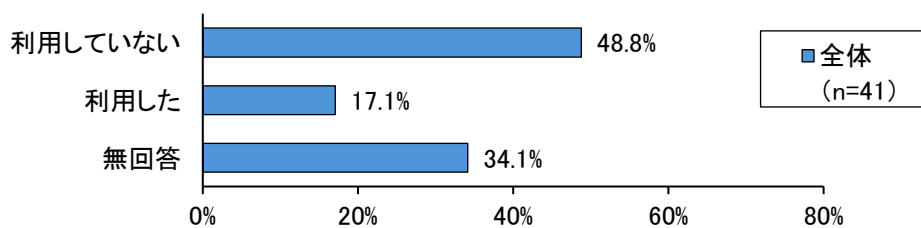
### E. 通所介護(デイサービス)



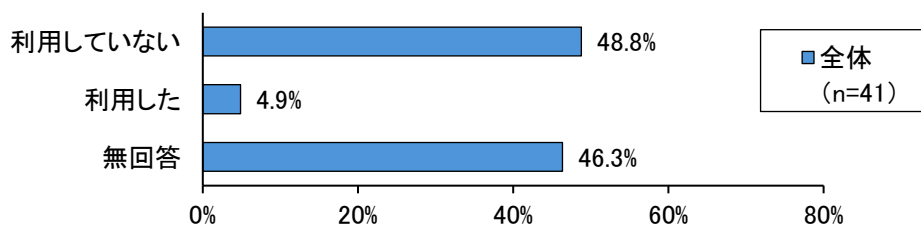
### F. 通所リハビリテーション(デイケア)



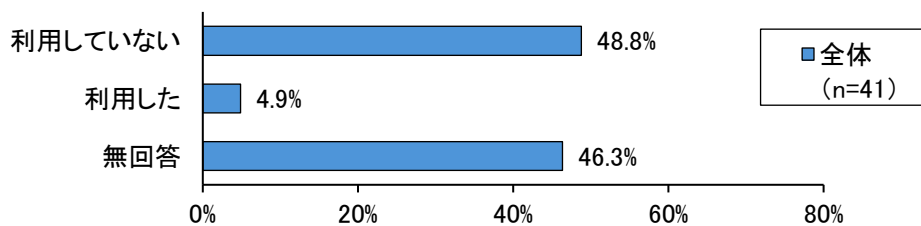
### G. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護



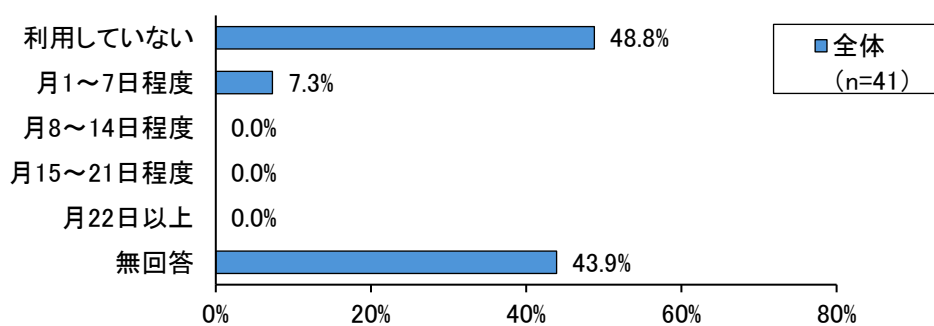
### H. 小規模多機能型居宅介護



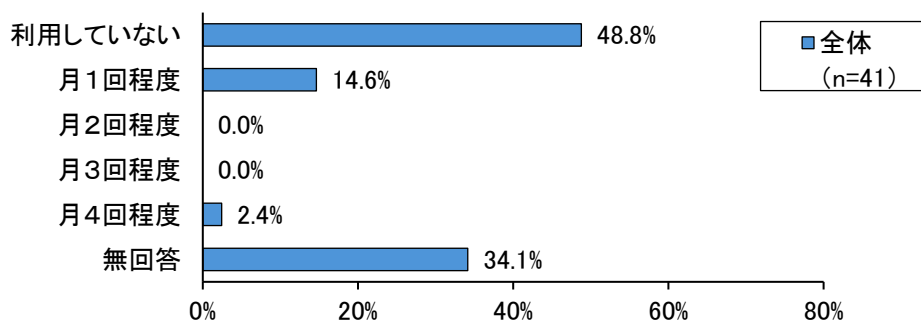
### I. 看護小規模多機能型居宅介護



### J. ショートステイ



### K. 居宅療養管理指導

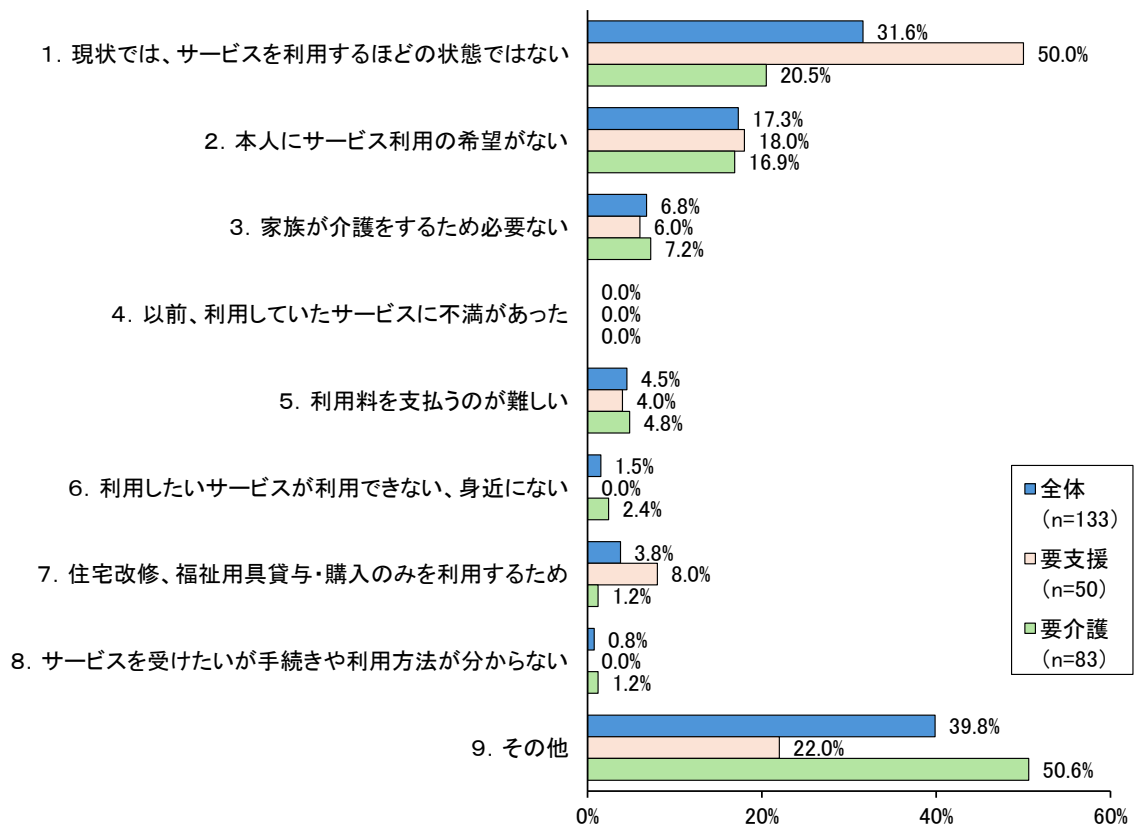


問8 問6で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

全体では、「その他」の割合(39.8%)が最も高く、次が「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(31.6%)となっています。

要支援・要介護別では、要支援は「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合(50.0%)が最も高くなっています。要介護では、「その他」の割合(50.6%)が最も高くなっています。※その他の内容は、「入院中のため」がほとんどとなっています。

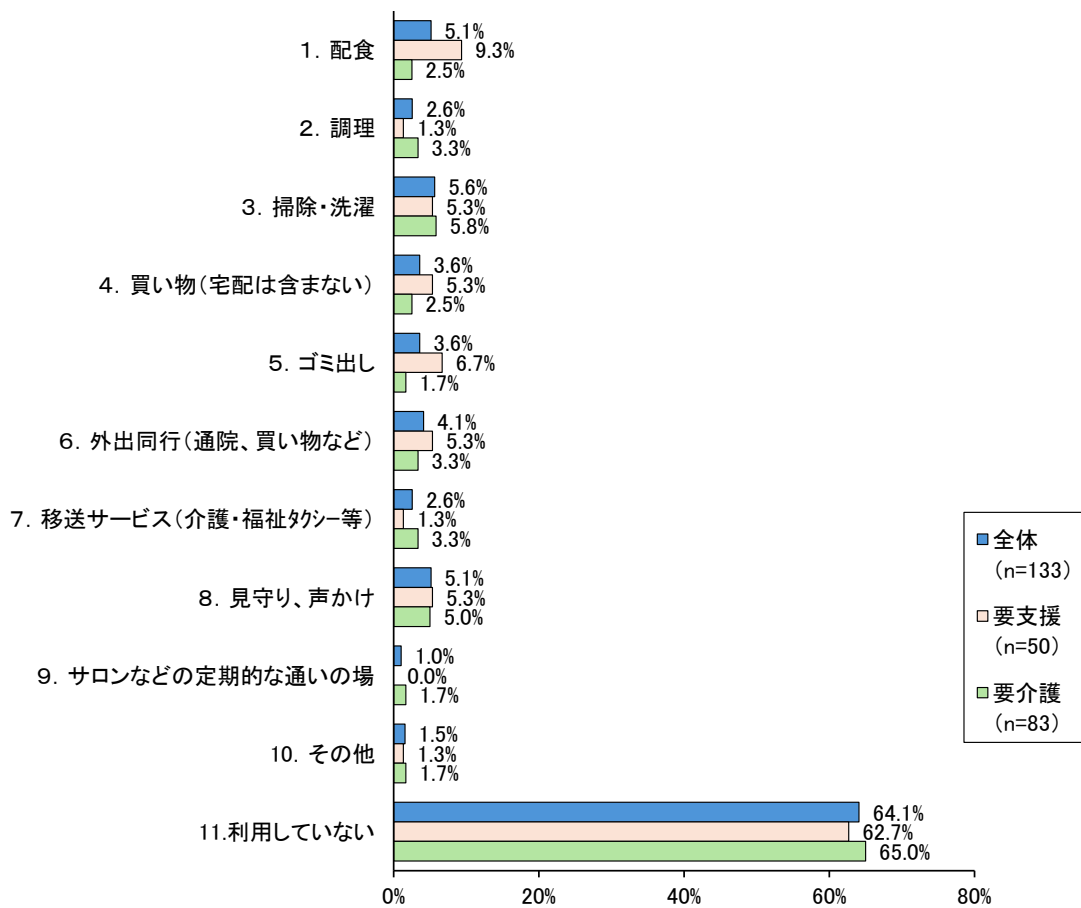


問9 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(複数選択可)

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

全体では、「利用していない」の割合(64.1%)が最も高く、他の項目を大きく上回っています。

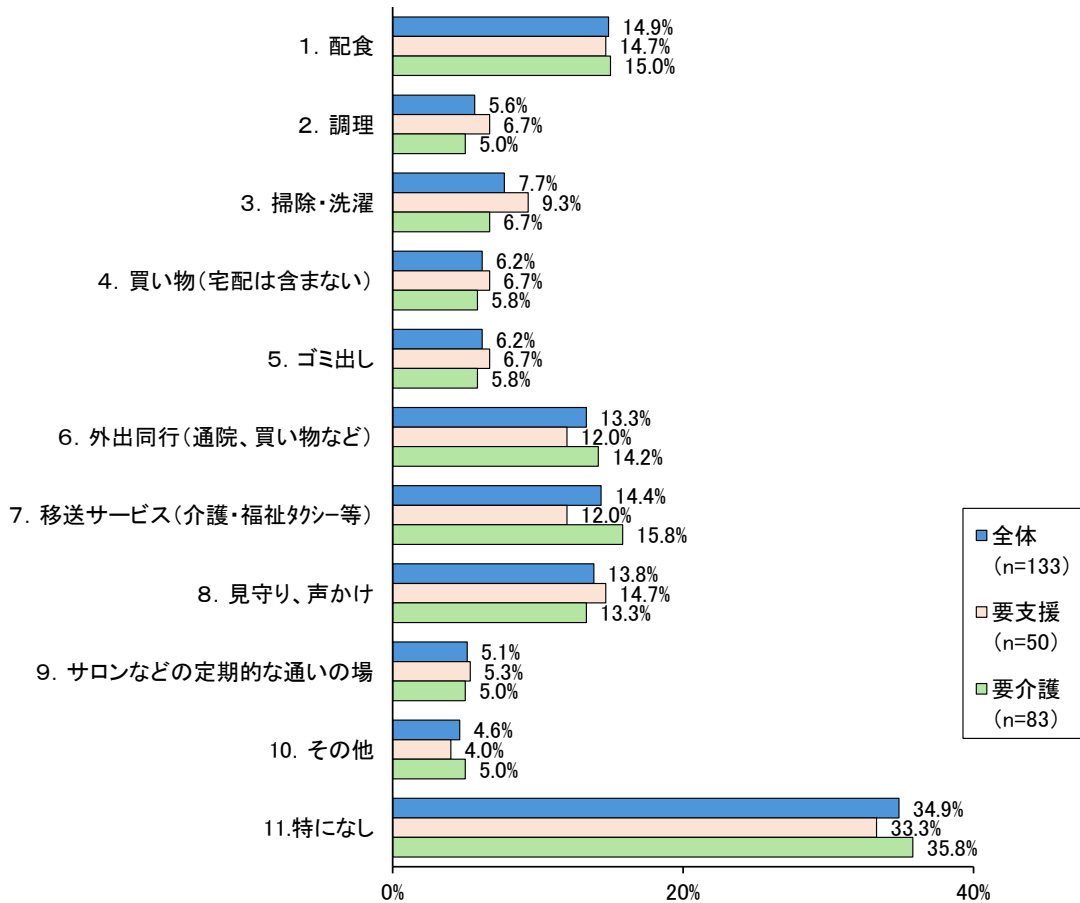
要支援・要介護別では、要支援、要介護とも全体とほぼ同じ結果となっています。



問10 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)

全体では、「特になし」の割合(34.9%)が最も高くなっています。支援・サービスの内容では、「配食」(14.9%)、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(14.4%)、「見守り、声かけ」(13.8%)、「外出同行(通院、買い物など)」(13.3%)が1割台となっています。

要支援・要介護別では、要支援、要介護とも全体とほぼ同じ結果となっています。

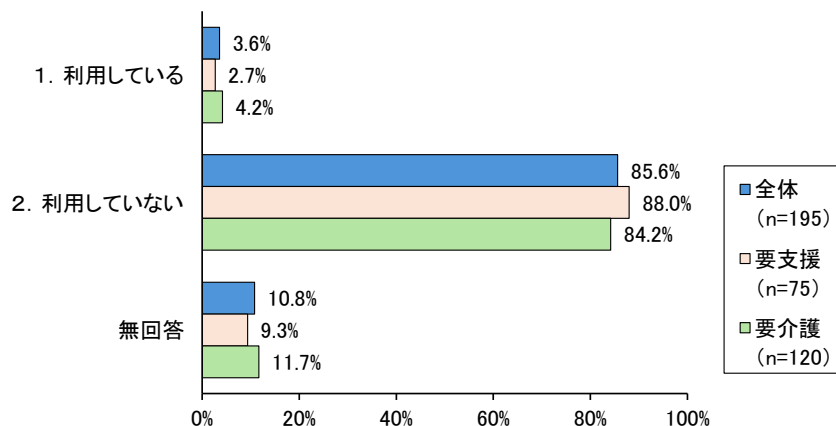


問11 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか(1つを選択)

※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

全体では、「利用していない」の割合(85.6%)が最も高く、ほとんどとなっています。

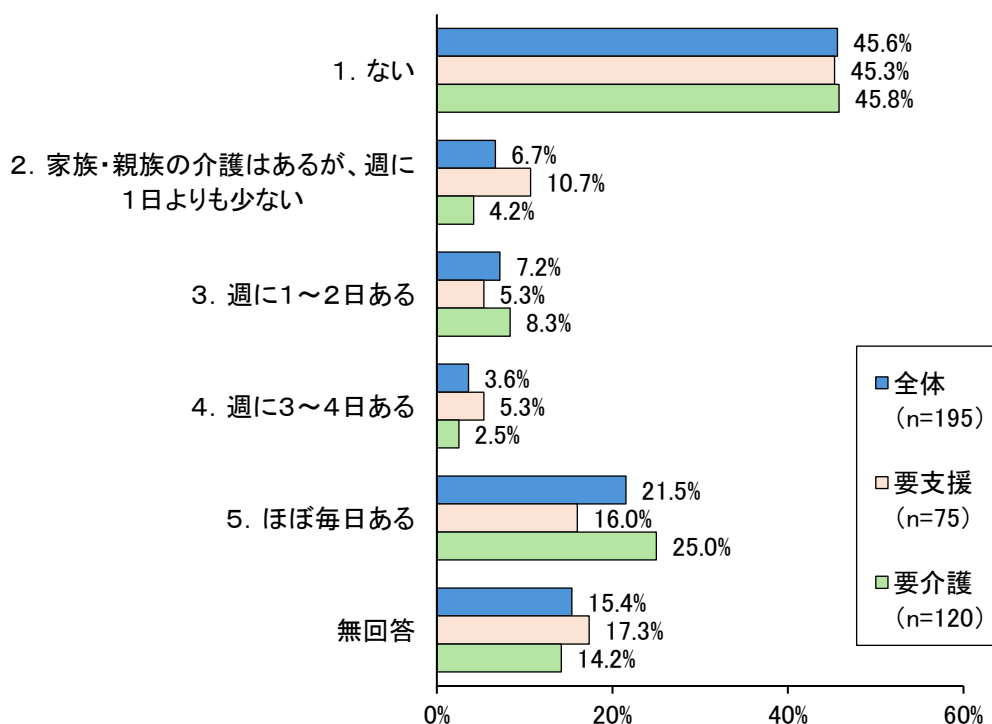
要支援・要介護別では、要支援、要介護とも全体とほぼ同じ結果となっています。



問12 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

全体では、「ない」の割合(45.6%)が最も高く、次が「ほぼ毎日ある」(25.0%)となっています。

要支援・要介護別では、要支援、要介護とも全体とほぼ同じ結果となっています。その中で、「ほぼ毎日ある」の割合は、「要介護」(25.0%)が「要支援」(16.0%)を9.0ポイント上回っています。

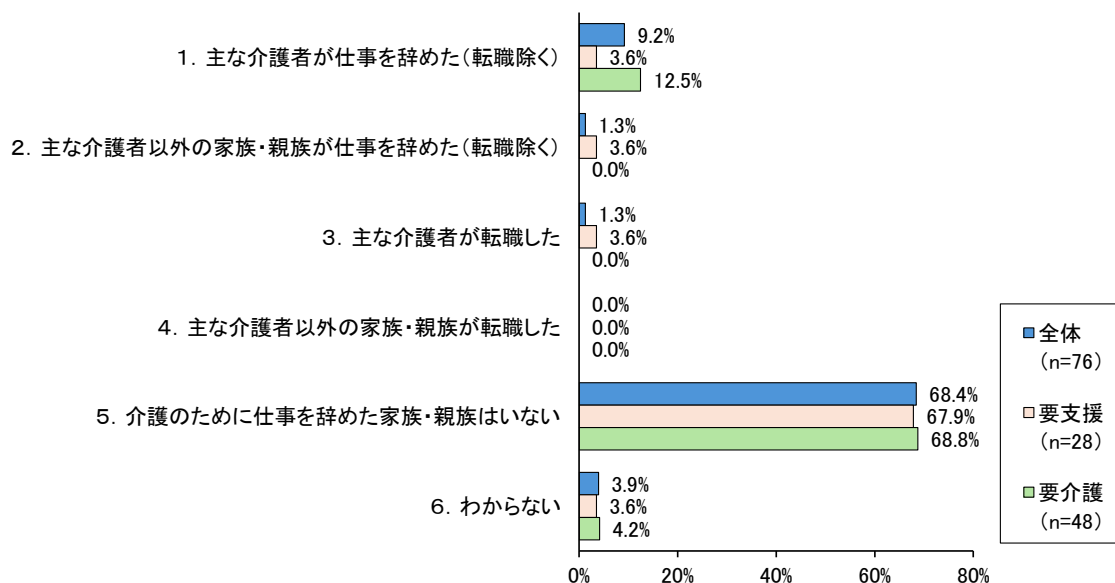


## 2. 主に介護をしている人(調査対象者を介護している人)について

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

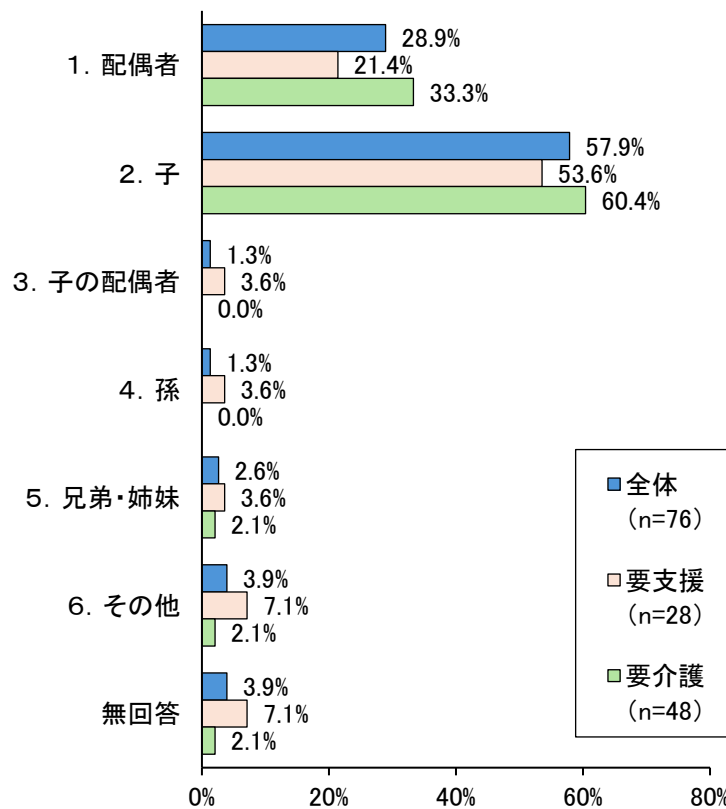
全体では、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合(68.4%)が最も高く、約7割となっています。また、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」(9.2%)は約1割となっています。

要支援・要介護別では、要支援、要介護とも全体とほぼ同じ結果となっています。その中で、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」の割合は、「要介護」(12.5%)が「要支援」(3.6%)を8.9ポイント上回っています。



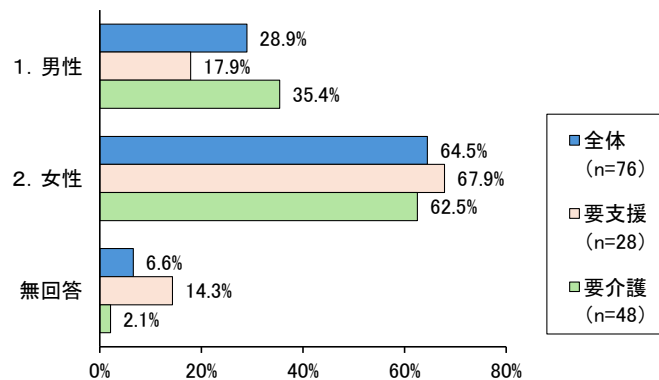
### 問2 主な介護者の方は、どなたですか(1つを選択)

全体では、「子」の割合(57.9%)が最も高く、次が「配偶者」(28.9%)となっています。  
要支援・要介護別では、要支援、要介護とも全体とほぼ同じ結果となっています。



### 問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つを選択)

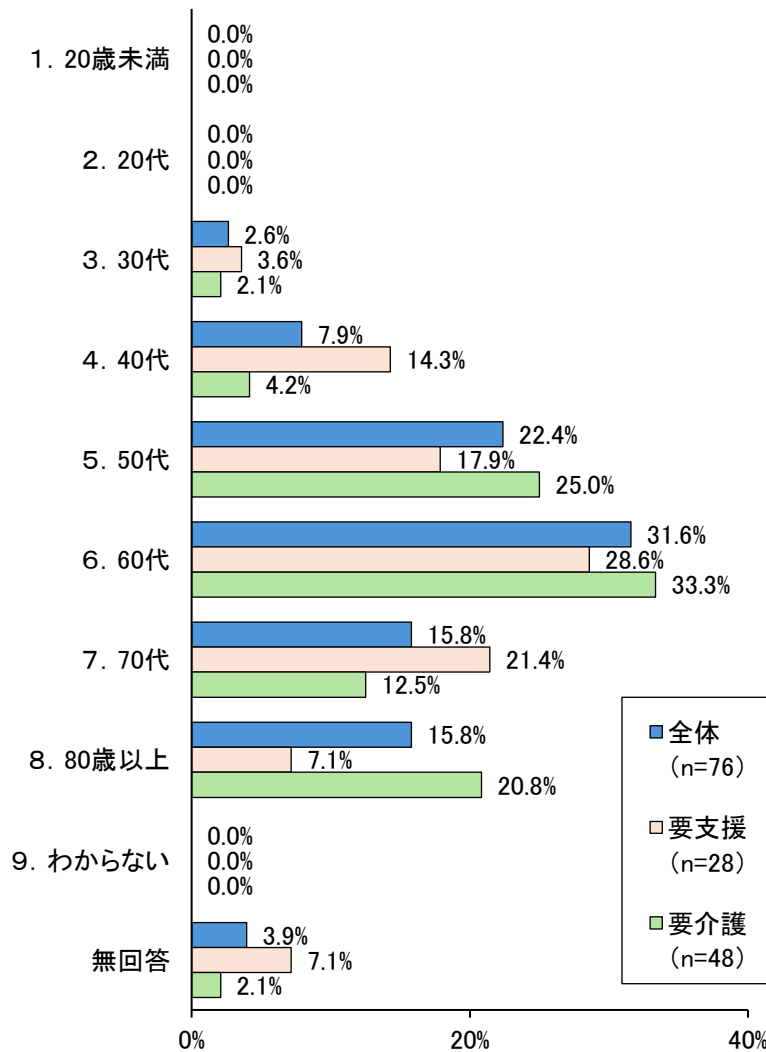
全体では、「女性」の割合(64.5%)が「男性」(28.9%)を上回っています。  
要支援・要介護別では、要支援、要介護とも全体とほぼ同じ結果となっています。



#### 問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

全体では、「60代」の割合(31.6%)が最も高く、次が「50代」(22.4%)となっています。

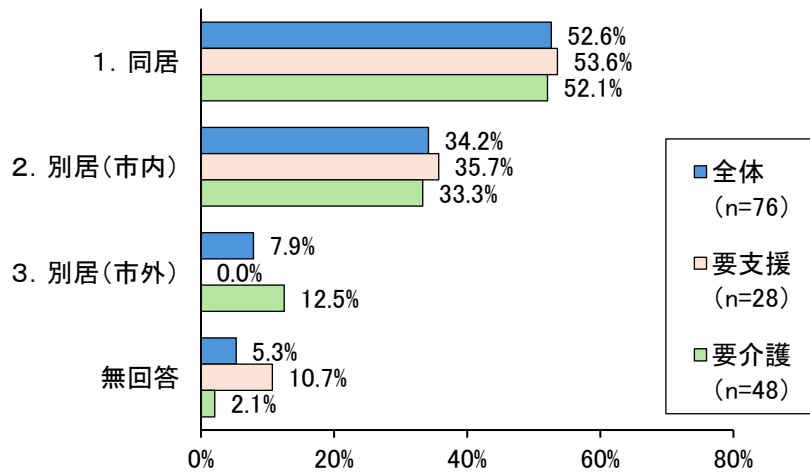
要支援・要介護別では、要支援、要介護ともに「60代」の割合(要支援:28.6%、要介護:33.3%)が最も高くなっています。次に割合が高いのは、要支援は「70代」(21.4%)、要介護は「50代」(25.0%)となっています。



問5 主な介護者の方はどちらにお住まいですか(1つを選択)

全体では、「同居」の割合(52.6%)が最も高く、半数を上回っています。

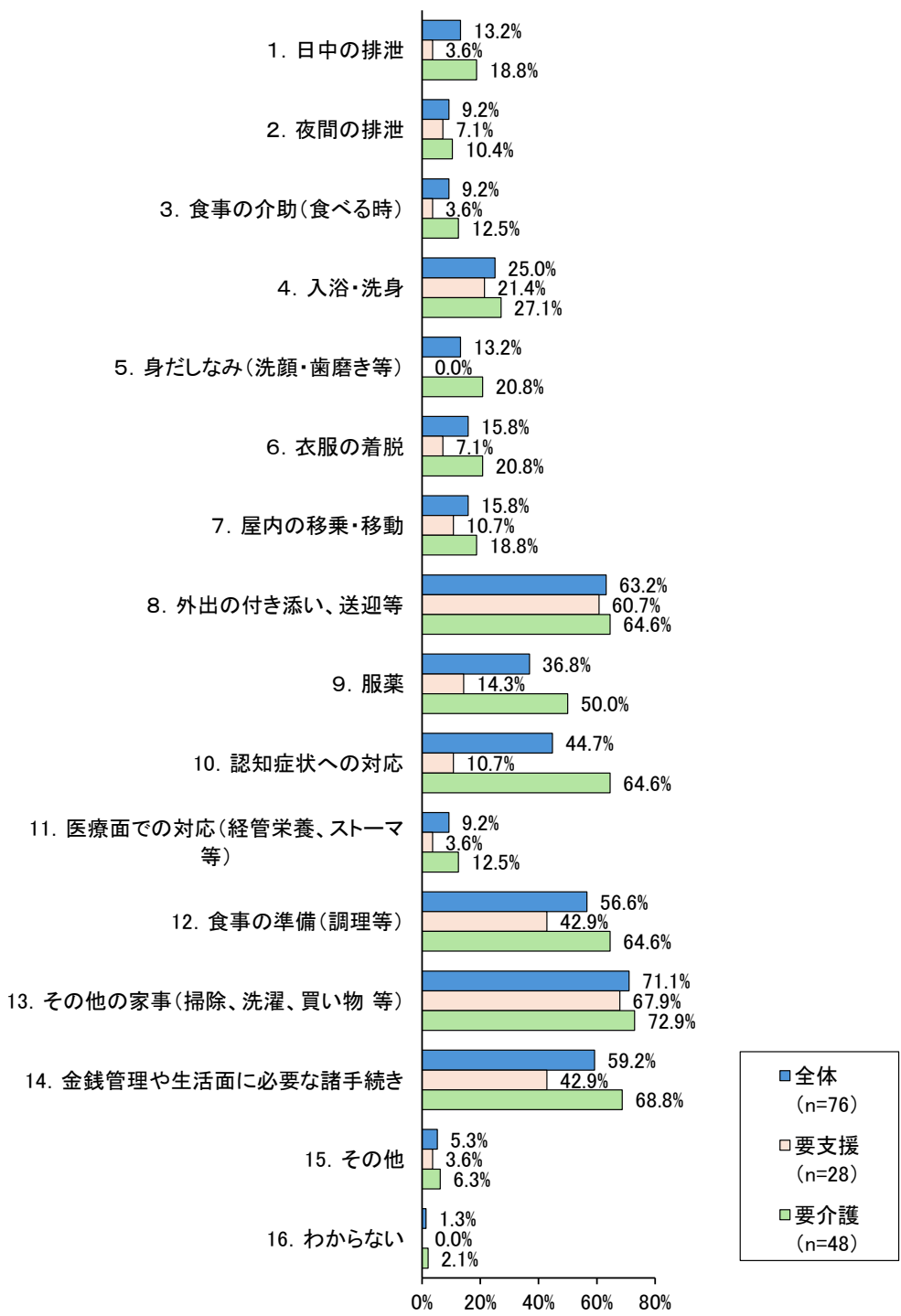
要支援・要介護別では、要支援、要介護とも全体とほぼ同じ結果となっています。



問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(複数選択可)

全体では、上位の3項目は、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等)」の割合(71.1%)が最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」(63.2%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(59.2%)となっています。

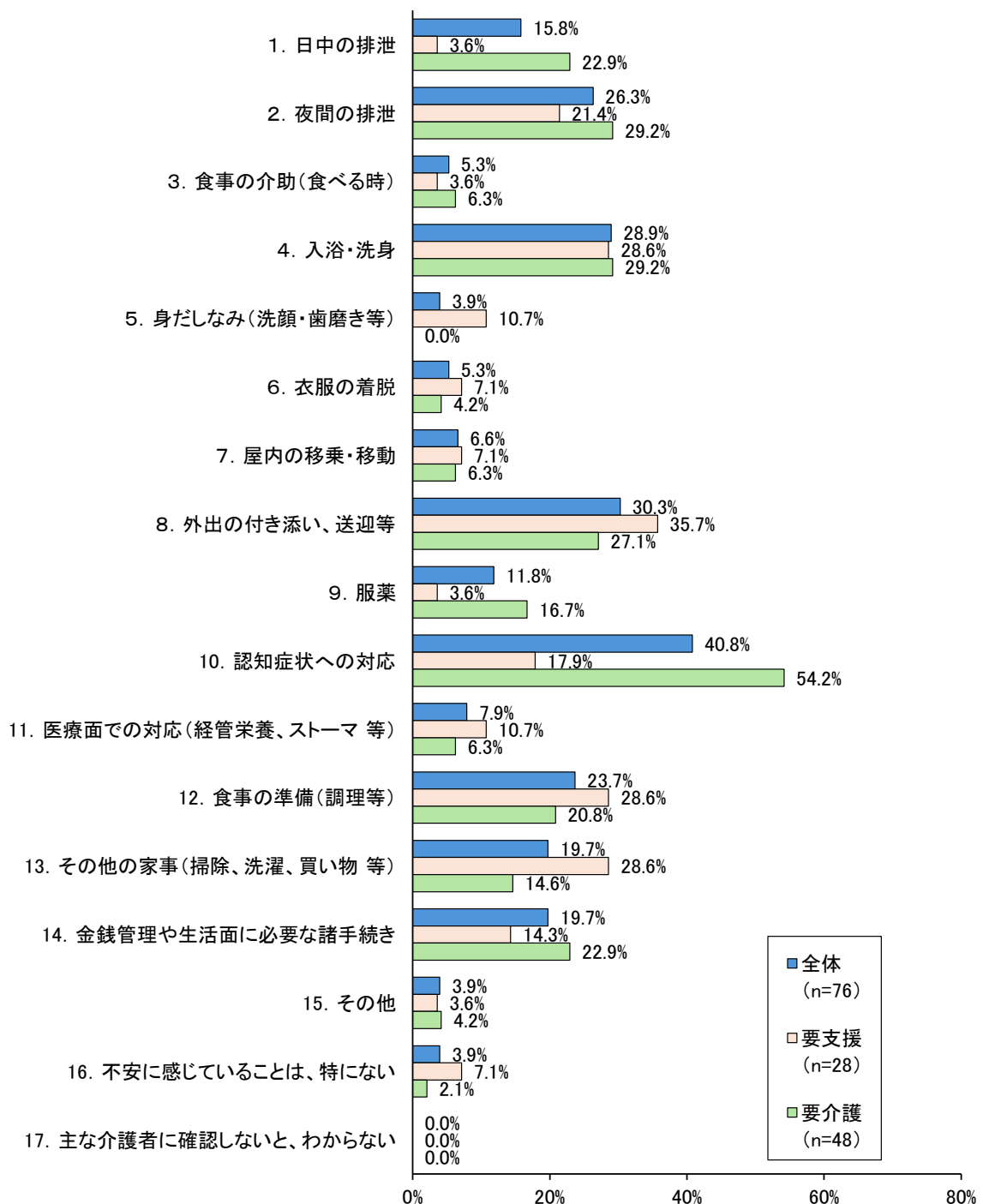
要支援・要介護別では、上位の3項目は、要支援、要介護とも全体とほぼ同じ結果となっています。また、要介護が要支援を10ポイント以上上回っている項目は、「認知症状への対応」(53.9ポイント差)、「服薬」(35.7ポイント差)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(25.9ポイント差)、「食事の準備(調理等)」(21.7ポイント差)、「身だしなみ(洗顔・歯磨き等)」(20.8ポイント差)、「日中の排泄」(15.2ポイント差)、「衣服の着脱」(13.7ポイント差)となっています。



問7 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

全体では、上位の3項目は、「認知症状への対応」の割合(40.8%)が最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」(30.3%)、「入浴・洗身」(28.9%)となっています。

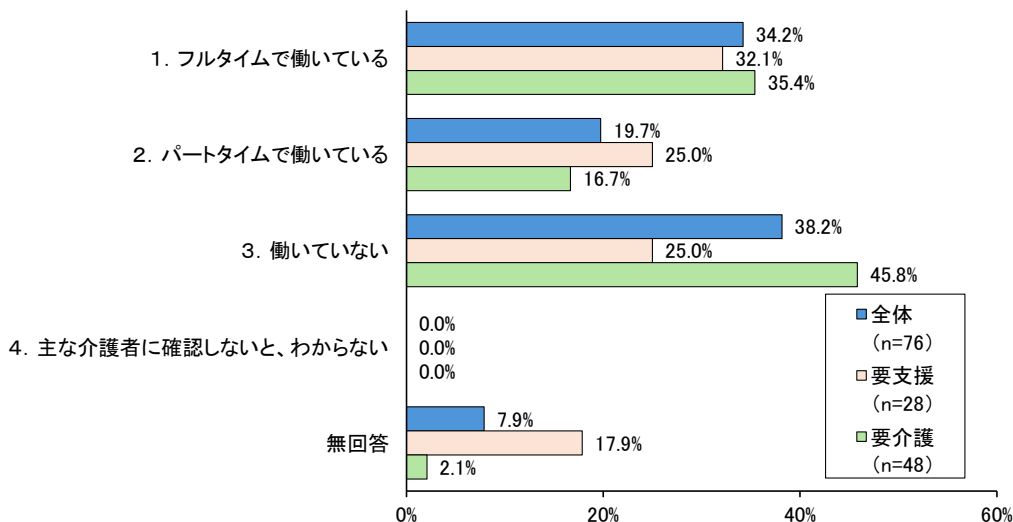
要支援・要介護別では、上位の3項目は、要支援では、「外出の付き添い、送迎等」(35.7%)、「入浴・洗身」「食事の準備(調理等)」「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(各28.6%)となっています。要介護では、「認知症状への対応」(54.2%)、「夜間の排泄」「入浴・洗身」(各29.2%)となっています。また、要支援と要介護の差が10ポイントある項目は、要支援>要介護は、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(14.0ポイント差)、「身だしなみ(洗顔・歯磨き等)」(10.7ポイント差)となっています。要介護>要支援は、「認知症状への対応」(36.3ポイント差)、「日中の排泄」(19.3ポイント差)、「服薬」(13.1ポイント差)となっています。



問8 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

全体では、「働いていない」の割合(38.2%)と「フルタイムで働いている」(34.2%)がおおむね同程度となっています。

要支援・要介護別では、割合が最も高いのは、要支援は「フルタイムで働いている」(32.1%)、要介護は「働いていない」(45.8%)となっています。

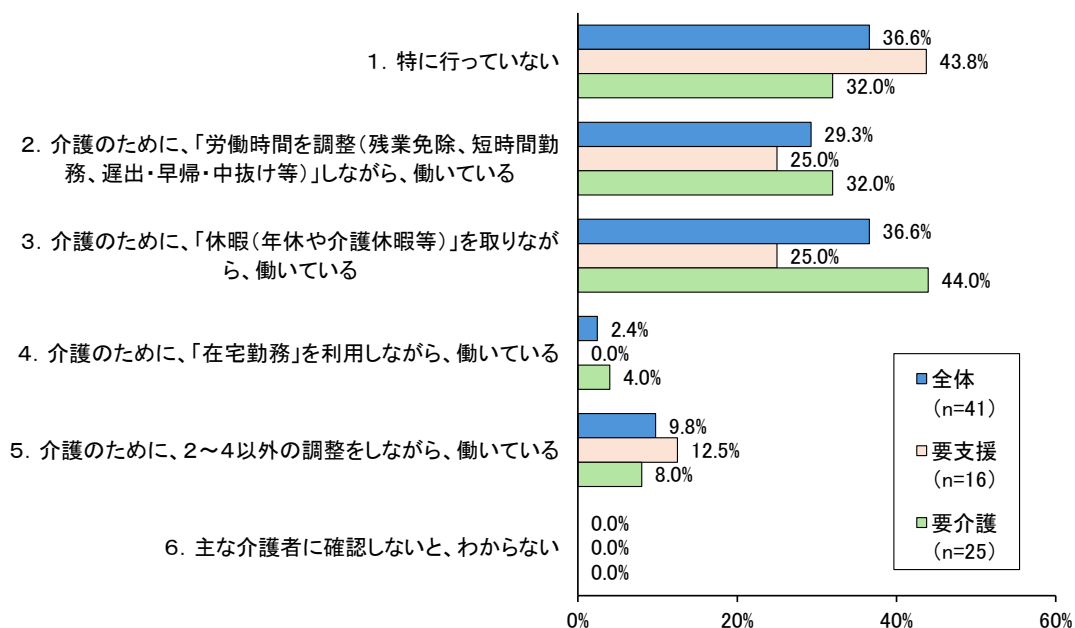


問9 問8で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか(複数選択可)

全体では、「特に行っていない」と「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」の割合(各36.6%)の割合が最も高くなっています。

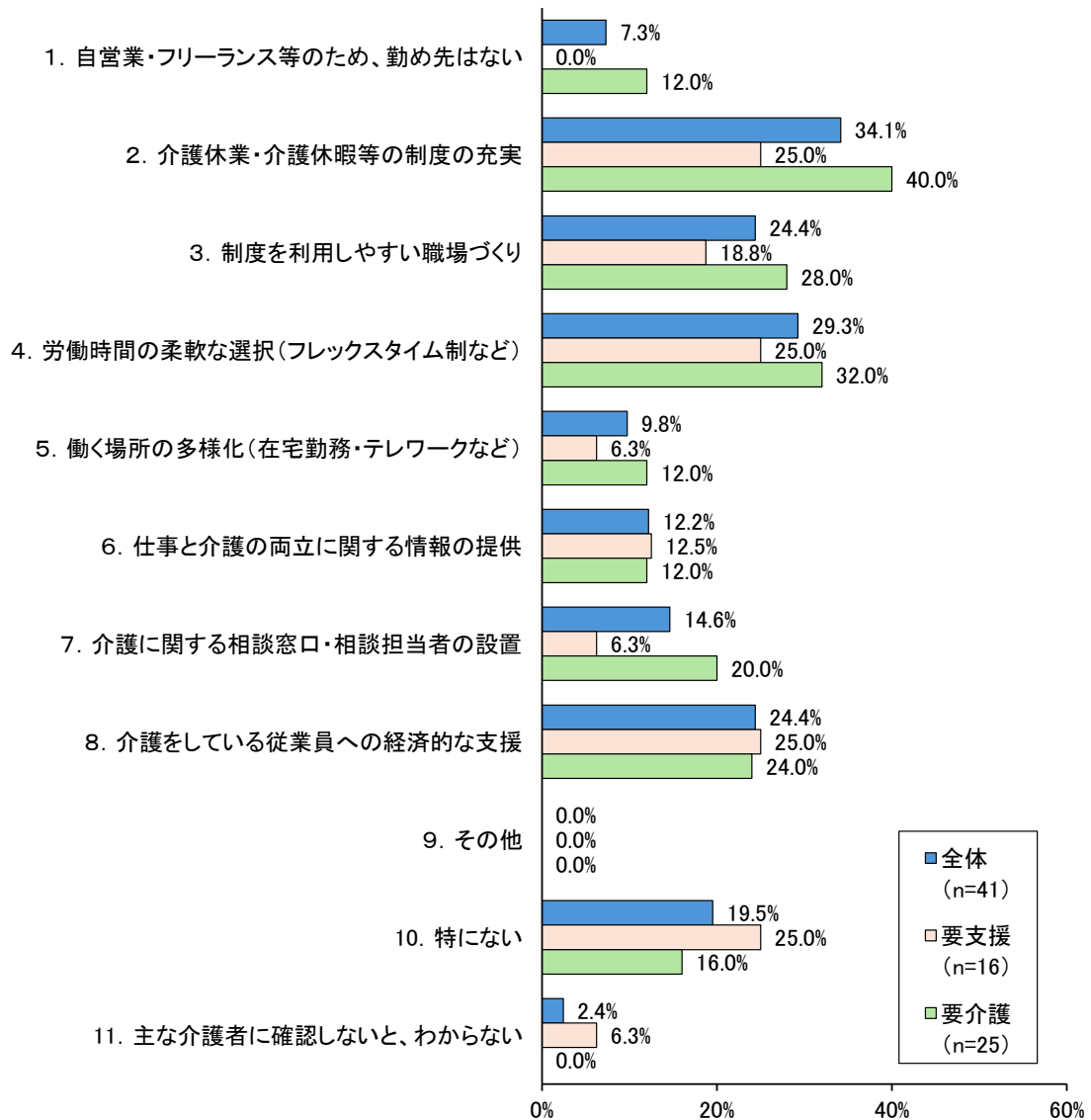
要支援・要介護別では、割合が最も高いのは、要支援は「特に行っていない」(43.8%)、要介護は「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」(44.0%)となっています。



問10 問8で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。  
 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか  
 (3つまで選択可)

全体では、上位の3項目は「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合(34.1%)が最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」(29.3%)、「制度を利用しやすい職場づくり」「介護をしている従業員への経済的な支援」(各24.4%)となっています。

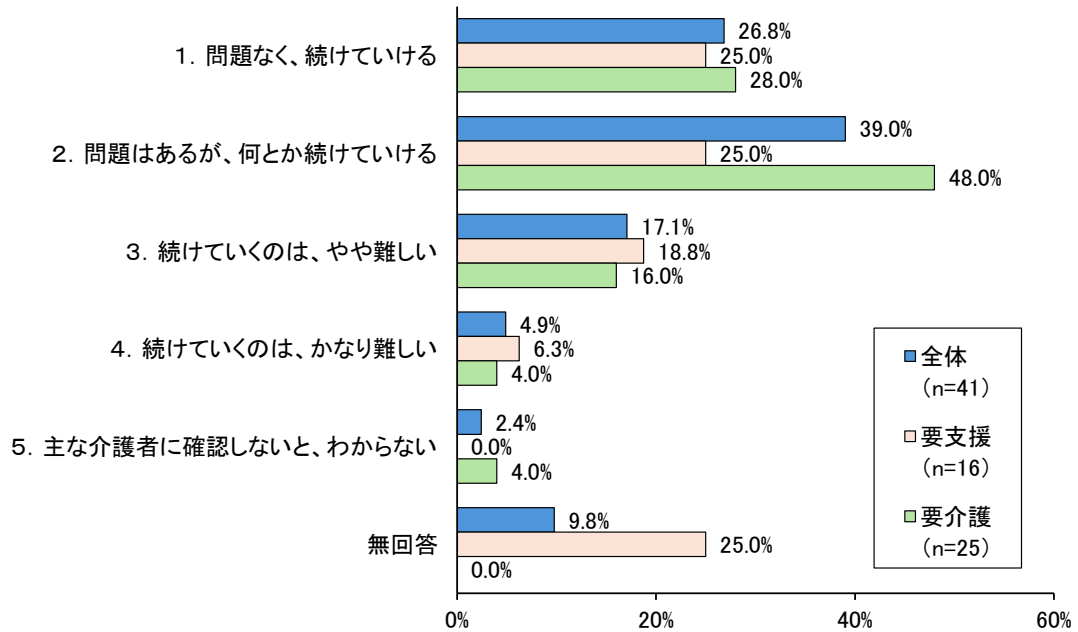
要支援・要介護別では、要支援、要介護とも上位の3項目は全体とほぼ同じとなっています。



問11 問8で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。  
 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つを選択)

全体では、「問題はあるが、何とか続けていける」の割合(39.0%)が最も高く、次が「問題なく、続けていける」(26.8%)となっています。

要支援・要介護別では、要支援は「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」が同率(25.0%)、要介護は「問題はあるが、何とか続けていける」の割合(48.0%)が最も高くなっています。



問12 今後、今後、在宅生活を継続するために必要だと感じる支援やサービスについて、ご回答ください(3つまで選択可)

全体では、上位の3項目は、「訪問介護・訪問看護サービスの充実」の割合(25.0%)が最も高く、次いで「短期入所(ショートステイ)やレスパイトケアの利用促進」と「地域包括支援センターやケアマネジャーとの連携強化」(各22.4%)となっています。

要支援・要介護別では、上位の3項目は、要支援、要介護とも全体とほぼ同じとなっています。また、要支援が要介護を10ポイント以上上回っている項目は、「短期入所(ショートステイ)やレスパイトケアの利用促進」(15.4ポイント差)、「移動支援や送迎サービスの充実」(13.1ポイント差)、「介護用品や福祉用具の貸与・購入支援」(11.9ポイント差)となっています。

